



令和2年度の本所研修を紹介します

はじめに

山梨県森林総合研究所では、受講者の要望に基づいた様々な研修を開催しています。ここでは、その研修の種類と令和2年度の研修について紹介をします。

研修の種類について

本所で主催する研修は、研修対象者別に3種類に分かれ、さらに研修教科別に15種類に分かれた中で行われています。次の表は、これらをまとめたものです。

研修の種類	主な研修対象者	研修教科	研修名（令和2年度の開催〔予定〕時期）
基礎研修	教職員	森林・林業に関する基礎知識	教職員森林・林業研修（8月） 教職員木工研修（8月）
専門研修	林業経営体職員 市町村職員 県職員 森林・林業関連のNPO 団体構成員等	森林計画	森林経営計画及び林地台帳制度の基礎知識（7月） 森林経営管理制度の実務（7月） 市町村森林整備計画の策定及び実行に係る基礎知識（9月） 森林GISの効率的な活用に必要な基礎知識（10月） UAVを用いた地上観測技術（2月） レーザー計測技術を用いた森林計測（2月）
		作業路網	林内路網の基礎知識（11月） 森林作業道の計画・施工（11月）
		森林土木	保安林・林地開発制度の概要（7月） 森林土木測量（7月）、法面緑化（10月） 公共土木施設点検のポイント（2月）
		森林環境教育	森林環境教育の進め方（3月）
		普及指導	森林施業プランナー研修（8月）
		労働安全	労働災害の防止対策（10月）、技術職員の安全管理（10月）
		森林経営	森林経営の基礎知識（2月）
		育林・環境	森林施業技術の基礎知識（10月）
		森林保護	山梨県野生鳥獣保護管理事業計画と獣害対策の応用知識（10月） ナラ枯れ被害の実態と対策（12月）
		特用林産	特用林産の基礎知識（3月）
		木材加工	木材の用途と品質（10月）
		木材流通	県産材利用に関する基礎知識（1月）
		林業機械	林業安全作業指導（7月、2月） 林業架線作業主任者免許講習（9-10月） 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育（9月）
技能者養成研修	緑の雇用研修生（県内の林業経営体に勤務して様々な技能・資格が必要な職員）	緑の雇用現場技能者育成研修	森林調査（森林調査・測量）（10月） 素材生産（チェーンソー伐倒・伐倒・集材）（11月） 路網開設（森林作業道）（11月）、現場管理（12月） 森林整備（かかり木処理他）（12月） 素材生産（高性能林業機械）（11月）

令和2年度に行われた専門研修について

令和2年度10月末までに行われた専門研修の一部を紹介します。※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、研修者数を例年より制限した中で開催しています。



○市町村森林整備計画の策定及び 実行に係る基礎知識

本所研究員が、主に行政職員に対して、当計画の実行に関する森林整備の考え方について研修を行いました。



○木材の用途と品質

本所研究員が、林業関係者に対して、木材の活用、強度、径級区分等についての基本的な知識について、研修を行いました。



○森林GISの効率的な活用に必要な基礎知識

本所研究員が、林業経営体職員、行政職員に対して、Androidタブレット、ノートパソコンを用いながら、実践的な研修を行いました。



○林業安全作業指導

(チェーンソー、刈払機)

本所研究員等が、行政職員、NPO 構成員等に対して、労働安全衛生規則に基づいたチェーンソーや草刈り機の安全な取り扱いについて研修を行いました(対象者別に9回開催)。

令和2年度に行われる予定の研修について

令和2年12月以降に行う予定の研修の一部を紹介します。

○森林環境教育の進め方(令和3年3月3日開催予定)

森林づくりや緑化の推進がSDGsの目標達成に貢献することや、木の良さ、木を利用することの意義について、山梨県の環境教育専門家と山梨県みどり自然課の担当職員を講師として学ぶ研修です。

森の教室 出前講座について

本紙で紹介した研修以外にも、「森の教室 出前講座」という概ね10名以上の集まりに対して、研究員が派遣される講座があります。本講座のお問い合わせは、森の教室(電話0556-22-8111)までお願いします。

作成:山梨県森林総合研究所

武居正道

連絡先

TEL 0556(22)8001 FAX 0556(22)8002

メールアドレス sinsouken@pref.yamanashi.lg.jp